



団体概要

◆大阪子どもの貧困アクショングループとは？

- 大阪母子の象徴的な2事件、2010年「西区2児放置死事件」、2013年5月24日の「北区母子変死事件」を受け「悲劇を繰り返したくない」と子ども支援関係者を中心に有志が集まり立ち上げました
- 子どもを中心として、経済的に困難な状態にあり、社会的弱者においやられている人々の声を反映し、市民の立場から問題を解決していきます
- 特にセーフティネットから抜け落ちるシングルマザー親子の生活を安定させ子どもの今をサポートする

日本の子どもの貧困 ※貧困率とは、家庭の所得が、その国の標準的所得の半分以上になる世帯の割合を指す
17歳以下の子どもの貧困率は15.7%（2009年）に達し、1986年の調査開始以来、最も高い
ユニセフ（国連児童基金）の報告でも、日本は先進35カ国中9番目に高い水準である

母子世帯の貧困

ひとり親家庭の相対的貧困率は50.8%

「人親家庭の支援について」平成25年9月 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課より

◆目的

私たちの目的は子どもの貧困をなくすこと。見えにくい子どもの貧困を明らかにするために、子どもや家庭の生活を調査し、子ども・親・周りのおとなをサポートしていきます

◆活動の3柱 「しらべる・みつける・つなげる」 ※みつける→緊急介入→つなげる

1: 調査、レポート作成

①2013年7月～2014年7月「シングルマザーたち100人がしんどい状況について話しました」

◇セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの協働調査

- <成果> 適宜HP、FB、月1回の勉強会などで報告、2014年1月末に中間報告書、2014年7月に最終報告書を作成
- <対象> 困難な状況にある（あった）シングルマザー、およびその予備軍、困難な状況にある（あった）シングルマザーの下で育った若者、母子のサポートをする行政、民間関係者、専門家
キーワード：母子家庭、貧困、孤立、風俗、DV、障がい、虐待
- <地域> 大阪市を中心とした大阪府下（対象者を得ることが困難な場合、地域拡大）
- <調査> インタビューと観察、記録するものとに分かれ、1回2時間で実施。日常の家族生活、成育歴など含む、生活史、今後の展望などについて、半構造化インタビューを行う

2: 相談事業 <面談&メール、skype、Lineなど活用> 「助けて！」って言ってもええねんで！

- ①行政・民間サービスにつなぐ（アウトリーチ/月1夜回り・専門家へのコーディネート）
- ②行政、民間のサポート窓口申請付き添い

3: 直接支援（母子サポート）

①「お寺おやつクラブ（月1）」/調査フォローアップ、ゆるい見守り&緊急食糧発送



higan.net

お寺おやつクラブ

子どもの居場所、学習支援、シングルマザー支援団体など含め、順次拡大

相談・寺子屋・駆け込み寺・地域コミュニティづくりへ・・・ ※送料お寺負担

お菓子だけでなく米・野菜・果物、その他、ベビー用品・オモチャ・洋服などのリユースへと展開

②「CPAO(しーぱお)クラブ」シングルマザー親子への機会提供

子ども：キャンプ、畑など自然体験、今後の展開→学習支援、月1お父さん、プログラミング・・・
シングルマザー：お茶会、今度の展開→スタ☆ママ(起業支援)、婚活・・・

③STOP! 負の連鎖プロジェクト! (生活支援、相互扶助)

個別訪問活動(家事&育児、学習サポート)、個別寄り添い活動 ※ボランティア募集

※5月の予定：5/10(土)アウトリーチ、5/24(土)勉強会予定

<お問い合わせ先> 大阪子どもの貧困アクショングループ：徳丸

事務所：〒555-0025 大阪府大阪市西淀川区姫里2丁目1番20 / マルモットステーション内

HP：<http://cpao0524.org> e-mail：info@cpao0524.org Facebook：<http://www.facebook.com/cpao0524>